

## 生涯学習支援事業報告

事業の名称	東北大学オープンカレッジ 「杜のまなびや」	事業代表	野口 和人
目的	地域社会に対する貢献の一環として、また、インクルーシブ教育の発信としてオープンカレッジを位置づけ、知的障害者の生涯学習にかかわる支援を行う。また、受講生・企画運営スタッフ・講師が「学び」の意味を再考する場とする。		
対象者	知的障害のある学外受講生（以下、「学習者」とする） 宮城県内の大学・大学院に在籍する学生（以下、「共同学習者」とする）		
内容	<p>講義題目 「自分の気持ちと仲良くなろう」</p> <p>実施日： 平成 28 年 12 月 3 日（土）</p> <p>担当講師：吉田 沙蘭 先生（臨床心理学専攻）</p> <p>【講義目的】この講義では、受講生が悲しいなどのネガティブな感情を抱いたときに、対処できるような自分なりの方法を見出すことを目的とした。</p> <p>【講義構成】はじめに、担当講師が、人が持つ様々な感情について説明を行った。その後、感情をテーマにグループワークを行った。具体的には、日常場面で抱く感情はどんなものがあるか、抱いた感情をどのように表現するのか、表現することによってどんな結果になるのかという 3 点について話し合いが行われた。最後にグループワークで話し合われた内容について発表を行い、講師から総括として、ネガティブな感情への捉え方が伝えられた。</p>		
実施場所	東北大学文科系総合研究棟		
スタッフ	<p>野口 和人（東北大学大学院教育学研究科教授）</p> <p>松 崎 泰（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）</p> <p>林 慎 吾（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）</p> <p>鴻野美和子（東北大学大学院教育学研究科博士前期課程）</p> <p>成田 詩織（東北大学大学院教育学研究科博士前期課程）</p> <p>藤村 励子（東北大学大学院教育学研究科研究生）</p> <p>今野 華奈（東北大学教育学部）</p>		

<p>受講生</p>	<p>学習者： 9名                  共同学習者： 16名</p>	
<p>スタッフの 活動概要</p>	<p>2016.6.16  2016.7.21  2016.9.2  2016.9.29  2016.10.20  2016.11.10  2016.11.24  2016.11.28  2016.12.3  2016.2.14  2016.2.17</p>	<p>「杜のまなびや」のコンセプトの確認， 授業テーマの検討，担当講師の検討</p> <p>研究テーマの検討，授業内容，担当講師の決定</p> <p>研究テーマ確認，授業内容の検討，講師依頼</p> <p>研究デザインの検討，担当講師との打ち合わせ日程の 確認，受講生募集準備，チラシ準備</p> <p>ホームページ作成，募集開始</p> <p>担当講師との打ち合わせ，研究内容の検討</p> <p>受講生参加状況の確認，当日の動きの確認</p> <p>担当講師との打ち合わせ，授業内容の調整</p> <p><u>杜のまなびや実施</u> 講義振り返り，研究結果まとめ</p> <p>研究結果共有</p> <p>教育ネットワークセンター報告書の作成</p>

<p><b>学習者の感想</b></p>	<p><u>講義についての感想（自由記述）（例）</u></p> <p>自分一人では、思いつかないような意見やアイデアがたくさんあって、色々な発見がありました。課題以外のことも楽しく話すことができ、仲良くなれたので良かったです。また、このような機会があれば、ぜひ参加したいなと思いました。</p> <p>障害のある方とこうして団らんをすることは今回が始めてでした。障害のある，なしを問わず，こうして同じ場で会話するということが，互いを理解する一番の近道だと思います。短い時間であつという間でしたが，こうした場への参加は今後とも続けていきたいです。本日はありがとうございました</p>
----------------------	---